

第2次亀山市総合計画
基本構想(諮問案)の修正箇所について

ます。

[健康都市への加盟とその後の取り組みとしての歩み]

亀山市は平成21年度に健康都市連合に加盟し、都市の機能すべてで市民の健康寿命を延ばす取り組みへの挑戦を始め、**健康都市としての一歩を踏み出しました。**

また、2025年問題に備え、必要性の高まる地域包括ケアシステムの構築に向け、多職種間での連携体制の強化を図るとともに、在宅医療連携システムを立ち上げました。庁内でも、医療と福祉の連携による地域医療の再構築を図るため、地域医療統括官を設置するなど、住み慣れた地域での健やかな生活を支える体制が整いつつあります。

③ コンパクトなまちづくりの推進と適切な土地利用の誘導

亀山市は、企業立地の促進や子育て支援の充実などにより、市北東部を中心に活発な土地利用が行われています。一方で、こうした土地利用の動きは、都市拠点の求心力の低下とも相まって、都市の拡散へつながり、既存市街地における空き家の増加など、市街地の空洞化にもつながっています。

そこで、活発な土地利用を都市の活力につなげられるよう、用途地域外での開発をできる限り抑制し、鉄道駅を中心とした既存市街地への都市機能の誘導を行うなど、適切な土地利用を促進します。さらに、既存のインフラ等の都市基盤を生かしたコンパクトで利便性の高いまちづくりを進めます。

④ 心地よい居住環境の形成

亀山市では、東海道の宿場町の面影を残す関宿や、亀山城址など、豊かな歴史文化を感じられるまちなみや歴史的な景観が残されています。また、鈴鹿山脈や鈴鹿川などの豊かな水と緑の自然は、人々の手で守られながら受け継がれてきました。

これら歴史的な風致や豊かな自然は亀山市の魅力であり、子どもから高齢者まで市民の暮らしに憩いや安らぎをもたらすもので、都市空間の基盤となるものです。

こうした亀山市の都市空間の基盤と市街地や居住環境との調和を保ちながら、東海道を基軸とした歴史的な風致の維持向上と自然環境の保全を図ります。

⑤ 安全な居住環境確保に向けた都市の安全性の向上

南海トラフに起因する地震や巨大化する風水害など自然災害への危惧が安全な都市づくりの必要性を高めています。

こうした中、津波リスクの少ない内陸都市としての強みを生かした安全な居住環境を確保するため、土砂災害や河川災害などの災害リスクに対する都市の防災力を向上させるとともに、災害時における都市機能の維持という視点を持った災害に強いまちづくりを推進します。また、道路整備や公共交通の充実等により、日常生活の安全性が確保される都市基盤の整備を推進します。

⑥ 近隣市との連携強化

幹線道路網の整備や鉄道の利便性向上により、年々生活圏の広域化が進んでおり、市民の生活を支える都市機能についても、市内外の持つそれぞれの都市機能の分担と活用が求められます。

市民の快適な暮らしを支えるため、鉄道等の公共交通や広域幹線道路網を活かした近隣市等との広域連携をより一層推進し、都市機能の分担等による広域都市圏としての「住みよさ」の向上を図ります。

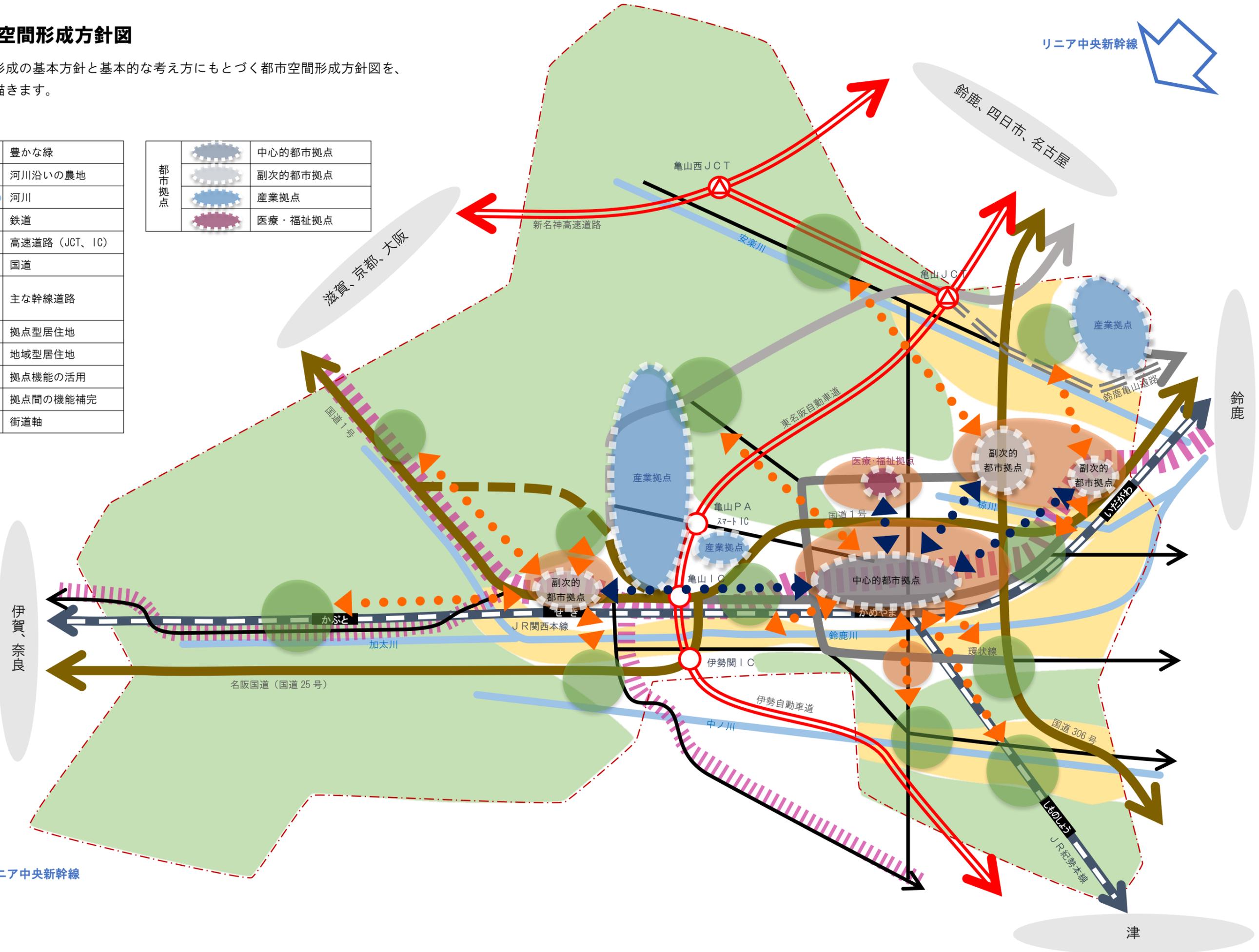
これらの都市空間形成の基本方針と基本的な考え方にもとづき、次ページのとおり都市空間形成方針図を描きます。

亀山市都市空間形成方針図

都市空間形成の基本方針と基本的な考え方にもとづく都市空間形成方針図を、
下のおり描きます。

都市基盤		豊かな緑
		河川沿いの農地
		河川
		鉄道
		高速道路 (JCT、IC)
		国道
居住		拠点型居住地
		地域型居住地
ネットワーク		拠点機能の活用
		拠点間の機能補完
		街道軸

都市拠点		中心的都市拠点
		副次的都市拠点
		産業拠点
		医療・福祉拠点
		医療・福祉拠点



リニア中央新幹線
鈴鹿、四日市、名古屋

伊賀、奈良

鈴鹿

津